

# 統合新病院整備事業の推進

## < 議題 1 >

市立伊丹病院  
公立学校共済組合

## 1) 統合新病院整備工事に係る入札結果について

区分	第1回目入札	第2回目入札
工事件名	統合新病院整備工事	
落札者決定予定日	2022年3月29日	2022年10月6日
入札方法	制限付き総合評価一般競争入札	制限付一般競争入札
予定価格(税抜き)	27,787,000千円	34,874,000千円
落札者	なし	なし
備考	入札参加者あり	入札参加者あり

## 2) 入札不調の原因について

- コロナ渦からの緩やか景気回復に伴う受給逼迫や、ウクライナ危機および円安の進行に伴い、原材料価格・エネルギーコスト・輸送コスト等が高騰し、建設物価が大幅に上昇
- 特に、鋼材・鋼板・銅・ステンレス(ニッケル)・アルミ・鉛・木材などの海外依存度の高い原材料・資材価格の高騰が、建設物価の上昇に大きな影響を与えている

### 【参考】 第1回目と第2回目の予定価格における建築主要工事費に係る上昇率の状況

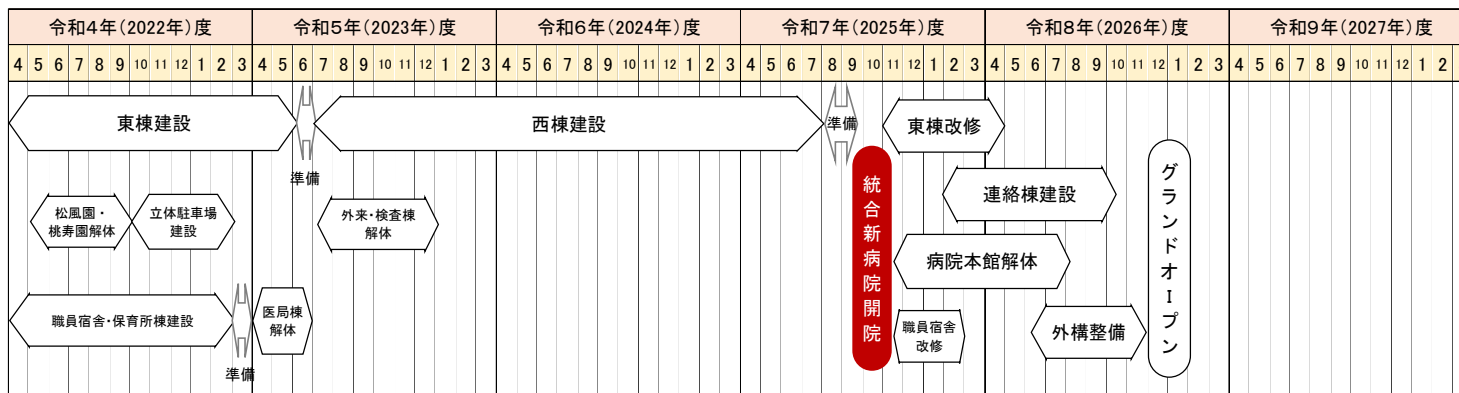
建築主要工事	上昇率	主要資材のうち、価格の高騰したもの
建物基礎・免震工事	32.42%	コンクリート・鋼板・鉛
鉄骨(構造部材)工事	49.36%	鋼材・コンクリート
金属・建具(サッシ・ドア・シャッター)工事	41.31%	鋼板・アルミ・ステンレス・木材・ガラス・ゴム
内装(間仕切・ユニット・クロス・床シート)工事	59.65%	石膏ボード・木材・ユニット(シャワー、トイレ)
外装(ALC)工事	49.73%	セメント・セメント加工品(ALC)
医療専門(遮蔽・手術・気送管)工事	56.93%	放射線防護(鉛・ガラス・鋼板)・シールド(銅)
屋外(防音パネル・庇・屋上緑化)工事	35.90%	アルミ・鋼板・ガラスウール
昇降機(エレベータ・エスカレータ)工事	27.00%	鋼材・アルミ・半導体・モーター(銅)

(「市立伊丹病院検討特別委員会」R4.6.6資料より抜粋)

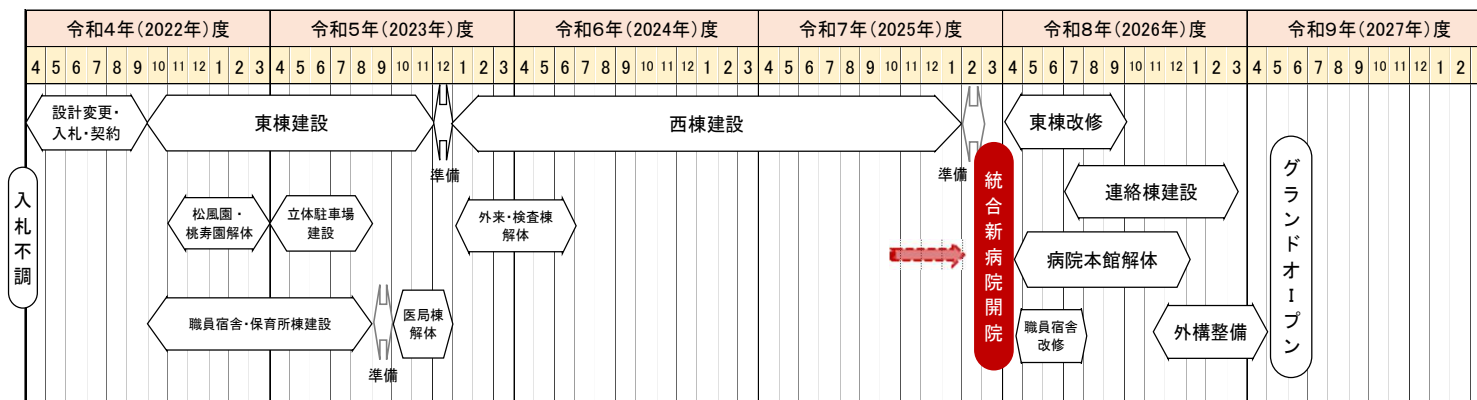
### 3) 統合新病院の整備スケジュールについて

- ▶ 統合新病院の整備工事は、当初計画において、2025年度中の開院を目指して準備を進めてきたが、2022年3月における第1回目の入札結果は「不調」に終わっている
- ▶ さらに、事業費の大幅な見直しを行い実施した2022年10月における2回目の入札においても、再度の「不調」という結果を受け、スケジュールの見直しを余儀なくされている
- ▶ 入札不調の原因は、コロナ禍の長期化、ウクライナ危機や急激な円安の進行など、世界規模で高まる不確実性の影響等を受けたこと等が、主な要因にあるものと分析される

① 整備スケジュール（当初計画）2021年3月時点



② 整備スケジュールの見直し（1回目）2022年6月時点



開院時期がさらに遅れることを余儀なくされている

## 4) 統合新病院整備事業推進の必要性について

### (1) 医療提供体制構築の観点から

- ① **医師の働き方改革（2024年～）**へ対応し、地域に必要とされる医療機能を提供するためには、両病院の統合による組織体制の強化が必要である ⇒ 医療提供体制の継続と充実・強化のために
- ② **新興感染症等に機動的に対応**することのできる統合新病院の整備が、兵庫県が策定する第8次医療計画（2024～2029）において求められている ⇒ 市民の安全・安心を確保するために
- ③ **医師確保**のためには、主な医師の派遣先大学を同じくする同圏域内の公立病院の開院と、同年度の開院を目指すことが求められる ⇒ 統合再編による円滑な医療資源集約のために

### (2) 安定した運営体制構築の観点から

- ① **診療報酬改定の方向性**に沿った医療機能を提供し、安定的収益を確保するためには、600床規模の運営体制の構築が必要とされる ⇒ 機能分化連携による高度医療提供体制の構築が求められている

### (3) 地域医療構想実現の観点から

- ① **地域医療構想実現の目標年次**は2025年となっている
- ② **住み慣れた地域で必要とされる医療を受診**することができるよう、市外で入院されている市民に対し、高度急性期機能を提供することが、統合新病院の地域医療構想において果たすべき役割である

### (4) 施設整備の最適化の観点から

- ① **両病院が別々に建替えを行った場合**には、将来にわたる安定的運営が実現不可能であることが、収支シミュレーション結果により検証されている
- ② **老朽化の進む市立伊丹病院・近畿中央病院**では、救急医療や高度医療等の地域において必要とされる医療を提供するうえで、施設機能的限界（既存不適格）を迎えている
- ③ **施設整備に係る有利な財源の確保**として、「病床機能再編支援補助事業」の給付は2025年度までに、「病院事業債（特別分）」の適用は2027年度までに、新病院を開院させる必要がある